



櫛島海水浴場（温泉津町温泉津）
写真：中野屋旅館故河野茂八郎様 撮影

VOL.18

2011.6

大田市ふるさと情報誌

Contents

- 2-3 P 大田市田舎体験「桜の里づくり応援ツアー」
- 4-5 P きらり！大田のNEWツーリズム
- 6-7 P ザ・おおだ ～大田市産品紹介～
- 8 P 東日本大震災について／記念誌販売
- 9 P シリーズ石見银山⑱／ちょんぼし語録⑫
- 10-11P おおだ情報BOX／ふるさと納税
- 12P ふるさとは今（シッカク踊）／表紙紹介（櫛島）

ど
が
な
が
な
木
田
市
で
あ
る

大田市田舎体験

桜の里づくり応援ツアー

5月1日(日)、三瓶町志学・東の原、桜の里で『桜の里づくり応援ツアー』(日帰りツアー)を開催しました。当日は、広島から80名の皆さんが参加。桜の木の除草刈りと山菜採りを体験されました。

また、このイベントには約100名の二輪車協会中国支部メンバーも参加され、一緒に除草刈りに汗を流されました。



桜の里づくり

応援ツアー

地元志学の人が五年かけて植えた、5千本の桜の下草刈りを手伝っていただくことで、都会の人に三瓶を訪れてもらい、三瓶の自然を見て・触れて・満喫してもらおうと三瓶ツーリズム実行委員会が企画。交流人口の拡大と定住人口の促進に繋げようと日帰りツアーを開催しました。

★桜の除草刈り・山菜採り★

11の班に分かれ、地元の班長さんの指導の下、「桜の除草刈り」・「山菜採り」です。

当日のスケジュール

- 7:20 広島駅出発
- 10:20 桜の里着 開会
- 10:40 桜の除草刈り・山菜採り
- 12:30 山菜の昼食
- 13:40 本宮神社の大杉と志学展望広場の見学
- 14:30 入湯(さひめ野、さんべ荘)
- 15:50 閉会

桜の苗木はまだ細く、その周りをイバラなどの草が取り囲んでいます。イバラの棘に注意しながら、鎌で熱心に草刈りです。5年後には、見事な約5,000本の桜が見ごろを迎える予定です。



桜の里には山菜が自生しています。班長さんの先導で山菜採りを体験。「たらの芽」「わらび」などが見つかったと歓声をあげながら採取していました。

▲わらび



▲たらの芽

▶班長さんが「たらの芽」をとってくれました。ハイどうぞ!!



▲親子で悪戦苦闘中! なかなかうまくぬけません



▲三瓶山の恵みをおいしくいただきました

★ おいしいお昼ごはん ★

午前の作業を終え、昼食会場の東の原に移動。山を歩き回ったので、お腹はペコペコ。いよいよお昼ごはんです。

お昼ごはん



【メニュー】

- ・おにぎり
- ・シシ汁（イノシシ肉を使った具たくさん味噌汁）
- ・天ぷら（こしあぶら、わらび、雪の下、たらの芽、はなうど、三つ葉、椿の花、ふき味噌）

▶会場では、山菜、味噌、おこわ、手作りこんにゃく、わさび漬けなど、地元産品の直売も



★ 地域資源の見学 ★

午後からは当初の予定では、山菜採りでしたが、あいにくの空模様のため雨天用のスケジュールに…。三瓶山を一望できる志学展望広場とパワースポット本宮神社の大杉の見学です。

▶広場には絶滅危惧種の「オキナグサ」が咲いていました



▲参加者は、地元の人の説明に熱心に耳を傾けていました

▼本宮神社の大杉は、平安末期にこの地の豪族矢野隆義が紀州熊野から分霊を勧請したときに移植したとの言い伝えが地元に残っており、樹齢800年とされています。幹周8.85m、根周り13mは、県内5位の巨木で、県の天然記念物に指定もされています



三瓶温泉 そして帰路へ

「さんべ荘」と「さひめ野」に分かれ三瓶温泉に入浴。一日の疲れを癒しました。参加者からは、「初めて来たが、こんなにもてなしてくれ、また来たい」、「山菜が盛りだくさんで良かった」、「楽しかった」という感想が聞かれ、満足していただけたようです。

大田市では、今後も、稲刈り、田舎の食体験と田舎体験ツアーを実施予定です。興味のある方はぜひご参加下さい。

【問い合わせ】大田市役所まちづくり推進課 ☎0854-82-1600（内線211）

きらり! 大田のNEW ツーリズム

ここ大田市は、国立公園三瓶山を中心にそびえる山々があり、また日本海がありと、山と海に囲まれた町です。そんな大田市には、様々な観光資源があります。今回紹介するのは、昔から存在していたものを、あらたな観光資源として活用してできた、大田市のNEWツーリズムを紹介します。



広がる幻想的な巨大地下空間

温泉津町福光

温泉津町にある福光石の石切り場は、2011年3月より開始しているガイド付きのツアーとして見学ができます。(所要時間40分〜60分)

室町時代から
古来四百年以上続く
現役の採石場

ここで採掘される『福光石(ふくみついし)』は、今から1500〜1600万年前、日本列島が大陸から分かれ始めた頃、海底火山から噴出した堆積し、長い年月をかけて凝灰石と呼ばれる岩石

存在します。この石切り場は、天井や壁一面に残された採掘時の切削跡がまるでどこか別の国へ続いているような不思議な景観とともに存在します。



山間にある採石場(出口付近)



展望台

採掘された福光石は、島根県内の施設で利用されており、大田市を代表する資源として幅広く愛用されています。

となりました。このことから、福光石は日本列島と同じ時間を共有する石とも言えます。



当時のノミの跡

『波根・久手海岸エコ・アド・ツアー』。波根の旅館組合と地元漁師のコラボレーションでできたこのツアーは、自然の神秘に触れる絶壁と奇岩の数々を、地元の漁師さんが操るホンモノの伝馬船で巡るものです。6月下旬〜9月中旬まで実施しており、所要時間は30〜40分。



地元の漁師さんが操るホンモノの伝馬船

波根町

期間限定!
エコ・アド・ツアー



壁の中の洞窟「こうもり穴」

自然が相手のツアーは、海が時化てしまえば運休。ツアー参加には、3日前までに事前予約が必要。ツアーは、波根港を出港すると、陸からは伺いしることのできない荒磯の洞窟へ入ります。洞窟は、地元では通称「こうもり穴」と呼ばれています。いくつかの洞窟がありますが、入る洞窟は1箇所のみです。洞窟に着くと、ここから漁師さんの腕の見せ所! 洞窟の中の海底には岩があり、手動でなければ動かせないところがあります。



洞窟の中から見る日本海

そのため洞窟に入っただけでは、船のエンジンを切って、手動で船を操ります。ぜひ、この船頭さんの船さばきと面白い話を聞きながら、神秘的な世界をお楽しみください。



地層が明瞭な海岸崖「立神岩」

★ツアーのご案内★

料金 3,000円(大人)/1,000円(小人)
運行 1日2便 定員 7名/便
① 6:30~7:30(1便のみ朝食付き) ② 16:30~17:30
宿泊者限定体験プラン
【乗船料+宿泊料(体験)】=12,000円(税別)~
◆体験◆
① 夕市見学 ② 一夜干し作り
③ アゴ網体験(3名限定、参加者多数の場合は、時間調整あり)

要予約

エコ・アド・ツアーのお問合せ・お申込みは
波根旅館組合
☎ 090-6834-4830

★見学のご案内★

要予約

時間 午前9時~午後5時
休日 年中無休(年末年始除く)
料金 基本料金(1~5名まで)1,500円
※6名以上は一人増えるごとに300円増し

福光石石切り場見学の
お問合せ・お申込みは
やきもの館
☎ 0855-65-4139

※受付時間 9:00~17:00
主催 NPO法人石見ものづくり工房

みなさんもツアーに参加され、大田市の誇れる観光資源をぜひご覧ください。



ザ・おおだ

プレゼント付き 大田市産品紹介コーナー

さつだや

〒694-0064 大田市大田町大田イ727番地2
電話・ファックス 0854-82-1890

【コメント】 明治31年創業。店名は、初代が刺鹿村から大田村に移転したことに由来します。三瓶銘菓浮布は、大田町制50周年を祝い創製し、当時山陰名物30佳選(菓子部門1位)を受賞、60年の伝統を誇る銘菓です。また、近頃は生クリーム大福も人気商品になっています。

悠々おおだ
ふるさとの店
キラリと輝く推奨店

◎浮布・銀嶺

看板商品の2品を組み合わせ“三瓶抄”として販売中です。
【プレゼント商品】
浮布(抹茶味・梅味)、銀嶺の計3本組を2名の方に



出雲屋蒲鉾店

〒699-2301 大田市仁摩町仁万777番地1
電話 0854-88-2952/ファックス 0854-88-4206

【コメント】 手づくりの蒲鉾・地元の一晩干かれいを製造直売。直売店ではイカ飯・揚げたてさつま揚げのテイクアウトも出来ます。島根の旨いもんを集めて、皆様のお越しをお待ちしております。また、ネット販売も行っておりますので、当店のサイトもご覧ください。

悠々おおだ
ふるさとの店
キラリと輝く推奨店

◎地魚てんぷら カレイ天

添加物を使用せず、かれい100%で作られた上品な味わいです。
【プレゼント商品】
地魚てんぷらカレイ天(3枚セット)を5名の方に



上野屋蒲鉾店

〒694-0031 大田市静間町311番地1
電話 0854-84-8121/ファックス 0854-84-8876

【コメント】 明治30年創業以来、地元和江港で水揚げされるトラハゼを使ったストかま、和江の光は定番商品として、ご愛顧いただいております。上野屋の職人は天然の素材や味にこだわる人にも喜んでいただける製品作りを目指し、日々努力を重ねております。

◎和江の蒲鉾セット

ふるさと大田の味、ストかまを含む練り物セット
【プレゼント商品】
和江の蒲鉾セット(スト蒲、天ぷらなど詰合せ)を1名の方に



御前そば

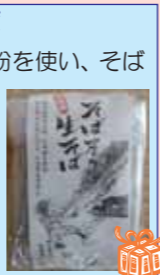
〒694-0305 大田市大森町イ793番地1
電話・ファックス 0854-89-0332

【コメント】 世界遺産石見銀山遺跡のある大森町に店を構える老舗そば屋です。自社商品のぼん酢は、酢を使わず、厳選した醤油と地元産のゆずをまるごと搾り、そばだしを絶妙にブレンドした商品です。鍋物はもちろん、何にでもあうところ好評いただいております。お近くにお寄りの際には、是非お立ち寄りください。



◎そば屋の生そば

国産のそば粉、小麦粉を使い、そば屋のこだわりで作りました。そば湯まで美味しくいただける商品です。
【プレゼント商品】
そば屋の生そば(2食分)を5名の方に



ぎんざん市場(道の駅「ロード銀山」)

〒694-0052 大田市久手町刺鹿1945番地1 国道9号沿い
電話 0854-84-0831/ファックス 0854-84-0075

【コメント】 「地産地消」は、消費者の地元農産物への愛着や安心感につながるとともに、地域農業の応援でもあります。大田市では、「地産地消」は可能性を秘めた分野で、積極的に取り組む必要があると考えています。そこで、その取組みの一つとして、地元で採れた新鮮な農産物を販売する「ぎんざん市場」をオープンしました。夏には、採れたてのなす、ピーマン、ぶどう、ブルーベリーなどが店先に並びます。帰省の際には、是非、お立ち寄りください。

◎地元野菜・加工品セット

【プレゼント商品】
旬な野菜と加工品の詰め合わせセット(3000円相当)を5名の方に



ファーム浮布株式会社

〒694-0223 大田市三瓶町池田155番地
電話 0854-83-2588/ファックス 0854-83-2544

【コメント】 国立公園三瓶山の麓、標高350mの澄んだ空気の中、綺麗な水でコシヒカリを生産しています。体に優しく、環境にも優しい安心・安全なお米づくりを目指しています。また、弊社では洋菓子作りに最適な、キメの細かい米粉(200メッシュ)も販売しております。



◎島根さんべ浮布米

減農薬栽培で育てたコシヒカリはもちりとした食感と米の甘みが特長です
【プレゼント商品】
さんべ浮布米(3kg)を3名の方に



有限会社 岡富商店

〒694-0051 大田市久手町波根西1988番地3
電話 0854-82-3975/ファックス 0854-82-9113

【コメント】 地元で水揚げされた、白いか・かれい・甘鯛・ノドグロなど、鮮度のよい魚をすばやく処理し、創業60年の培った製法で丁寧に仕上げております。理屈なく皆様にうまい!とっていただける商品作りを常に心がけております。当社の各種一夜干や一度食べるとやめられない珍味などは是非ご賞味ください。



◎おおだブランド一夜干セット

新鮮な旬の地魚だけを使い、天日海水塩で仕上げた商品です。
【プレゼント商品】
おおだブランド一夜干セットを1名の方に



石見銀山農業協同組合

〒694-0064 大田市大田町イ651番地
電話 0854-84-9057/ファックス 0854-84-9339

【コメント】 世界遺産の地、島根県大田市にあるJA石見銀山は地元産の農作物・農産加工品を取り扱っております。なかでも地元産のさつま芋を使った芋ラガー「平左衛門」はほんのりとしたさつま芋の甘さが特徴ですので女性にもオススメの商品です。※インターネット・JAタウン『銀山のおくりもの』でも好評販売中



◎石見銀山天領米

減農薬・減化学肥料で栽培し、氷感熟成で一層粘りと甘みが増した自然に優しい地元コシヒカリをお届けします。
【プレゼント商品】
石見銀山天領米(2kg)を5名の方に



柳オーダヤ

〒694-0222 大田市鳥井町鳥井331番地5
電話・ファックス 0854-84-8557

【コメント】 当社は大田市の旬な魚を全国にお届けしております。主に飲食店や小売店への販売を行っており、大田市の安心・安全で美味しい魚を全国に広めていけるように頑張っております。大田の鮮魚のことは当社にお任せください。

◎おまかせ鮮魚ボックス

大田市沖で水揚げされた旬の地魚をお届けします。
【プレゼント商品】
大田産おまかせ鮮魚BOXを1名の方に



柳大谷商店

〒694-0222 大田三瓶町志学口933番地1
電話 0854-83-2501/ファックス 0854-83-2323

【コメント】 国立公園三瓶山の温泉街で地域の特産品や食品、酒類を販売しています。特に自社で製造、販売している「わさび漬」は、地元の皆さんや観光客にご好評を頂いております。発送も承っておりますので、お気軽にお電話下さい。また、三瓶山にお越しの際はお立ち寄り下さい。



◎わさび漬

三瓶山産の指定農家で栽培されたわさび本来の味を活かしたしょうゆベースのわさび漬です。
【プレゼント商品】
わさび漬(三杯漬)400gを5名の方に



柳中木屋本店

〒694-0051 大田市久手町波根西350番地
電話 0854-85-8501/ファックス 0854-85-7386

【コメント】 大正13年の創業以来、石見銀山のある海・山に恵まれた土地で、味噌・醤油を日々、醸(かも)しています。味噌も醤油も長い時間をかけて作ります。「美味しかった」と言われるのが、何よりの幸せです。そう言って頂けるよう、伝統を守りつつ、お客様のご意見を取り入れた商品作りを心がけています。



◎味噌ぼん酢

味噌の旨みと柚子ぼん酢の爽やかさが食欲をそそる当店人気商品焼き魚に、野菜のドレッシングに、鍋物に
【プレゼント商品】
味噌ぼん酢(235g)を5名の方に



柳和田珍味

〒694-0035 大田市五十猛町1559番地3
電話 0854-87-0611/ファックス 0854-87-0844

【コメント】 和田珍味では、お客様に食べて頂けるという喜びを心に留め、製品作りに少しの妥協も許しません。長年に渡り培われた技法と味を忠実に守ろうと、工場では魚をさばくの一枚、一枚手作業で仕上げ、最後まで人の手で確かめながら、常によい製品作りを心がけています。



◎ふく味餅干

弊社伝統の製法で仕上げた甘辛の味は誰の口にもあう一品です。
【プレゼント商品】
ふく味餅干を5名の方に



◎ プレゼントの応募方法は、別添の『ふるさと情報誌アンケート』にご希望の商品番号と商品名を第3希望までご記入ください。
◎ 応募締切 平成23年7月29日(金曜日)必着。

東日本大震災

3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。
大田市では被災地の復興にできる限りの支援を行っています。また、当市に避難された被災者の皆さまに対しても、1日も早く安心していただけるよう、次のとおり生活再建に向けた支援を行っています。

お気軽に、ご相談・お問い合わせください。



大田市では被災されたみなさんの受け入れを行っています

大田市消防本部「緊急消防援助隊」撮影(宮城県仙台市)

被災者支援に向け 義援金箱を設置

大田市では、3月15日から市役所本庁と仁摩・温泉津各支所に、22日からは各まちづくりセンターに義援金箱を設置。皆さまから多額の募金をしていただきました。

お寄せいただいた金額は、5月30日現在で28,338,262円。日本赤十字社を通じて、被災された皆さまへ渡される予定です。



被災地へ援助隊を派遣



大田市消防本部では、第1次(3/12)、第2次(3/15)緊急消防援助隊を結成。宮城県で救急搬送業務と行方不明者の捜索にあたりました。

支援の問い合わせ

大田市役所総務部総務課
被災者支援総合相談窓口 (☎ 0854-82-1600)
〒694-0064 大田市大田町大田口1111番地
※詳細は市のホームページをご確認ください。

市内避難者への支援

5月31日現在の内容です。その後、変更が生じている場合があります。

生活関連

- ・当面の生活費として支援金を支給
市内に1か月以上居住されるかたに、1世帯に20万円(単身者は10万円)の被災者支援金を支給
- ・生活費を無利子で融資
限度額 10万円(特別枠20万円)
償還期間 3年以内
- ・転入園・学した園児・児童・生徒に見舞金を贈り、学用品、給食費などを援助
- ・認可保育園の保育料を1年間免除
- ・水道料金・下水道使用料を免除
- ・市税の納期限を延長
- ・国民年金、国民健康保険、介護保険の各保険料を免除

住宅関連

- ・市営住宅などを最長1年間、無料で貸し出し(満室になる場合があります)
- ・個人所有の空き家などを紹介(所有者との交渉が必要)

医療・健康・福祉関連

- ・医療証なしで、また一部負担なしで受診が可能
- ・市が行う健診等の自己負担を免除
- ・介護保険の居宅サービスなどの負担金を1年間免除
- ・介護保険証なしで介護保険サービスが利用可能

旧大田市・旧温泉津町・旧仁摩町の記念誌を販売しています



合併前の旧1市2町では、それぞれが記念誌を作成し、販売していました。3誌ともふるさと懐かしい写真をふんだんに掲載しています。

価格は「写真でみる大田市のあゆみ」が3,000円、「仁摩町制施行 五十周年記念誌」が4,000円、「温泉津ふるさとアルバム」が1,500円です(いずれも税込み)。

ご希望のかたは、大田市役所総務部総務課 広報広聴係 までお問い合わせください。

問い合わせ 総務課広報広聴係 ☎ 0854-82-1600 (内線256) e-mail o-koho@iwamigin.jp
※詳細は市のホームページにも掲載しています。

石見銀山の本格的な開発が始まった16世紀の半ば頃は、西洋では「大航海時代」と言われていた時代でした。西洋人の航海の目的地のひとつとなったのが中国です。当時は明という国で、世界最大級の経済規模を誇っていました。西洋人が熱望したのは、明以外ではほとんど手に入らない高級品の、絹、陶磁器、茶です。

しかしながら西洋人が悩んだのは、明が海外貿易に消極的だったことです。明は物が豊かなため、西洋の産物で興味をひくものがなかったのです。

そこで困った西洋人が目を付けたのが日本の銀でした。明では、経済の発達に伴い、貨幣や納税に利用できる銀が大量に求められていました。そして多くの西洋人が日本貿易に従事するようになります。

たとえば、日本へキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルのような宣教師です。彼らは布教費用を得るため、貿易活動を行い、情報収集することが多々ありました。ザビエルは日本が「『銀の島』と呼ばれている」、という趣旨の手紙を残しています。他の宣教師も「中国にあるポルトガル人の港は、日本からの積荷（銀）で繁栄している」と報告するなど、日本は銀貿易によって広く西洋人に知られていたのです。

こうして、日本人は銀を西洋人の持ち込んだ中



銀鉱山(Argenti fodinae)という文字が石見だけにあり、石見銀山は西洋でもよく知られていたようです(テイセウ日本図・島根県立古代出雲歴史博物館蔵)

国の産物などと交換し、西洋人は中国で銀を絹などに交換する貿易体制が出来上がります。大航海時代における日本の銀は、西洋と東洋を結ぶ不可欠な貿易品のひとつだったのです。

【問】 石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183
ホームページ <http://ginzan.city.ohda.lg.jp/>

ちゃんぽし語録⑱

(A) 夫 (B) 妻

- A : やれ！今日も暑いー。
B : そがにいらくって…いじしや余計暑うなるでな。
A : こがに暑けりゃ、こらえられんでえ。
B : 海にでも浸かってきたらどがなかな？
A : そらええなあ、そがしょう。
B : そいでボベでも採って帰ってごしない。
A : 涼みに行こかちゅうだに、仕事させるだかな!?
B : わしや暑うてやどから出られんけえ、店に行かれへんに。
A : ちっとも涼みにならんでえー。
B : 晩げが茶漬けでよけりゃ、やどでなごうになつてええでな。
A : やれの一、ほいじゃあちよっこし行って戻るわ。
B : 岩場でまくれんよう、きーつけんさいよ！

(解説)

46kmもの長い海岸線をもつ“おおだ”には、たくさんの海水浴場や釣りスポットがあります。海水浴も夕方ごろから出掛けてついでにボベを採ったり、子どものアセモを治すために塩水に浸かりに行くなど、生活の一部として気軽に楽しんでいます。ボベは岩場に付くカサガイ類の地方名で、炊き込みご飯にするととてもおいしいですよ。

みんな！ 待っとなるでな～

大田市田舎体験ツアー

JR広島駅発着の日帰りツアーです!!
“おおだ”で田舎暮らし体験なんていかがですか?
定員はそれぞれ20名です。(先着順)

[問] 大田市役所まちづくり推進課 ☎ 0854-82-1600(内線211)

★稲刈り体験ツアー

日時 9月24日(土)
会場 大田市三瓶町池田
参加料 3,000円(実費分)
国立公園「三瓶山」で稲刈り体験!!三瓶山西の原散策もご案内します。
そして最後はもちろん三瓶温泉です。



★田舎の食体験ツアー

日時 10月15日(土)
会場 大田市山口町(子ご美の里)
参加料 3,000円(実費分)
古民家を改造した「子ご美の里」で、地元の方の指導により豆腐・コンニャク作りを体験!!
三瓶温泉もお楽しみいただけます。

高野聖(こうやひじり)



期日 10月15日(土)
会場 喜多八幡宮、南八幡宮(大田町)

獅子舞を先頭に大幟、負幟、持幟、高野聖、花駕籠、曳き馬などが行列をつくって練り歩きます。島根県指定無形民俗文化財。

[問] 大田まちづくりセンター ☎ 0854-82-6240

馬路乙見神社例大祭 おおあしなか (大足半)

期日 10月9日(日)
会場 仁摩町馬路地区内
鞆ヶ浦を12:30にスタートし馬路地区内を練り歩きます。乙見神社に15:00到着予定です。
巨大な足半(足の半分までしかない短い草履)は、長さ約4m、幅2m、厚さ40cmで、重さは350kgもあります。
[問] 馬路まちづくりセンター ☎ 0854-88-9070

2011

三瓶高原クロスカントリー大会



トランプの女王
弘山晴美が
やってくる!!

期日 8月21日(日) 雨天決行
会場 国立公園三瓶山西の原
三瓶高原クロスカントリーコース

参加料等

★クロスカントリー(2km、3km、5km、8km)
一般:3,000円/高校生以下:1,000円

★ウォークラン(1km、2km)
無料(当日参加可)

ウォークランは完走を目的とし、タイムはとりません。

参加資格 小学4年生以上で健康な人。ただし、5km、8kmへの出場は自己記録が5kmは35分以内、8kmは50分以内の方に限る。ウォークランは幼児以上(幼児は保護者同伴)で健康な人なら誰でも参加できます。

申込締切日 平成23年7月15日(金)

申込先 大田市教育委員会内
三瓶高原クロスカントリー大会事務局
☎ 0854-82-1600(内線313)

※詳しくはホームページをご覧ください
<http://www.city.ohda.lg.jp/6774.html>

「ふるさと納税」ありがとうございました

平成22年度にお寄せ頂いた寄附金は次のとおりです。

1. 寄附の状況

1) 寄附金総額: 1,365,000円 2) 寄附者数: 20人

2. 寄附金の使途別の状況

寄附金の使途	金額	人数
定住促進	0円	0人
参画と協働によるまちづくり	310,000円	3人
石見銀山のまちづくり	120,000円	2人
指定なし(市政一般)	935,000円	15人



多くの方から貴重な寄附金をいただきありがとうございました。大田市まちづくり推進基金へ積み立て有効活用させていただきます。

平成23年度からは10,000円以上のふるさと納税をされた方に、おおだブランド認証商品などの特産品を贈呈します。引き続き「ふるさと大田」へのご声援、ご協力をよろしくお願いいたします。

◆問い合わせ◆ 大田市役所まちづくり推進課 ☎ 0854-82-1600(内線211)

おおだ情報BOX

小笠原流大代田植囃子

期日 7月17日(日) 15時頃～
 会場 大代町
 石清水八幡宮をスタートし、大代まちづくりセンターまで町を歩きます。大田市指定無形民俗文化財。
 [問] 大代まちづくりセンター
 ☎ 0854-85-2204

第31回天領さん

★久手会場
 期日 8月4日(木)
 会場 久手港
 鼓笛隊パレード、灯籠流し、花火大会など
 ★大田会場
 期日 8月6日(土)
 メイン会場 大田市民会館
 天領踊りなど
 [問] 天領さん実行委員会事務局 ☎ 0854-82-2877



海神楽

日時 8月13日(土)
 会場 福光海水浴場(温泉津町)
 ※雨天の場合は温泉津まちづくりセンターが会場となります。
 日本海に沈む夕日やかがり火、打ち寄せる潮騒をバックに練り広げられる舞は必見です。
 [問] 小林工房 ☎ 0855-65-2565
 温泉津温泉旅館組合(輝雲荘)
 ☎ 0855-65-2008



琴ヶ浜盆踊り

期日 8月13日(土)・14日(日)・15日(月)
 3日間とも21時頃～
 会場 琴ヶ浜(仁摩町)
 太鼓の音と口説きが夜空に響き、鳴り砂で有名な琴ヶ浜海岸を会場に優美な盆踊りが行われます。
 大田市指定無形民俗文化財。
 [問] 馬路まちづくりセンター
 ☎ 0854-88-9070

石見銀山三日籠り2011

日時 9月1日(木)～4日(日) 参加費 20,000円
 定員 40名 ※要予約
 世界遺産石見銀山遺跡の歴史、生活・文化、遺跡調査などに関する講座や現地踏査などのフィールドワークを行います。
 J R広島駅発着送迎のツアーです。
 [問] NPO法人しまね歴史文化ネットワークもくもく
 ☎ 0852-21-6243 <http://npo-mokumoku.jp/>

秋の彼岸市「中日つあん」

期日 9月23日(金)・24日(土)
 会場 大田市駅前通り、市民会館駐車場など
 大田市駅前通りの両側に約300の露店が立ち並びます。
 [問] 大田商工会議所
 ☎ 0854-82-0765



ふるさとは今

みやざきょうぜんしき 県指定無形民俗文化財シッカク踊と宮座饗膳式(水上町)

シッカク踊と宮座饗膳式は、福原八幡宮が摂津国福原（現兵庫県神戸市）の地から勧請された時（社伝によると天永2年（西暦1111年）建立）から伝わる例大祭の神事です。昭和46年に福原八幡宮が水上神社に併合されて以降は水上神社の例祭にとり行われています。

宮座饗膳式は拝殿で氏子に膳が振る舞われます。氏子たちは決まった順番に箸をつけていきますが、そのたび献立について悪態をつきます。そのつど神主のらりくらりと言いつきをし、給仕役がお神酒を注いでなだめながら膳を食べさせます。この時に悪態が多ければ多いほど、翌年が豊作になると言われています。



今年は10月23日(日)に水上神社(水上町)例祭で行われます。
問い合わせ先：水上まちづくりセンター（☎：0854-89-0023）

そのあと行われるシッカク踊は、水上町郷土芸能保存会が保存・継承活動を行っており、高山小学校愛護少年団の子どもたちにより奉納されます。

12人の子どもたちが狩衣装にたすき掛け、飾りたてた笠をかぶった鮮やかな衣装をまとい、大太鼓、小太鼓、小ざさら、編木（びんざさら）を使って、「シーシー」という合いの手を入れ足で調子を取りながら12番の踊りをおどります。ゆったりとしたテンポが心地よい、芸能化していない古式純朴な田楽が今に伝えられています。ともに貴重な文化として、昭和62年に県の無形民俗文化財に指定されました。

表紙

あの頃 くしじま ～ 檳島(昭和30年)～

表紙の写真は昭和30年代初期の頃の写真です。中央にある飛び込み台(いつまであったのかは定かではありませんが)や水着姿にその頃の様子がうかがえます。

今のように娯楽もあまりない時代、夏となれば海水浴場は多くの人でにぎわったようです。しかし、当時は檳島に行くには沖泊から海に面した険しく狭い遊歩道を歩いて行くか、小浜の船着場(橋の階)から渡し船で行く方法しかありませんでした。

檳島に行く渡し船から見る景色、白い波しぶき、時間にすれば10分もかからない短いコースでしたが檳島に行く楽しみの一つだったようです。

今では、市道檳島線が昭和63年に開通し、車で簡単に行くことができるようになり、魚釣りやキャンプも気軽に楽しめるようになりました。

この夏の思い出づくりに、ぜひ檳島へお越しください。



現在

檳島にはその昔、承久の変(1221年)で隠岐の島に流罪となった後鳥羽上皇が途中、大嵐で漂着し、お世話になったお礼にと古者へ檳をあげたことから檳島となったという言い伝えがあります。

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行 / 大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-matidukuri@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>
“おおだ”の定住サイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索